

本号では、令和4年度のマッセOSAKA研修研究事業についてご紹介いたします。  
また、マッセOSAKAホームページに最新情報を掲載しておりますので、併せてご覧ください。

## 研究事業の紹介

研究事業では、市町村独自の政策形成の推進を目指し、広域的あるいは将来的な課題についての調査・研究を進め、新たな行政課題や政策についての提言、情報の蓄積や受発信を行います。

### ○ 研究会

令和4年度は、次の2つの研究会を実施します。詳細については、次号でご紹介いたします。

- ・働き方を「選択」できる仕組みづくりを考える研究会
- ・自治体財産（ハコモノ）の新たな活用方法を考える研究会  
～利用できるから利用したくなる公共施設へ～



研究会の様子

### ○ 地方自治ゼミナール

令和4年度より、「地方分権ゼミナール」から「地方自治ゼミナール」に名称を変更いたしました。  
引き続き、4つの大学院と連携して、より専門性の高い調査・研究を行います。

### 【大阪大学大学院法学研究科との連携】

受講生の希望により研究テーマを設定し、担当講師と10月から4か月間にわたる研究活動を行います。研究成果のプレゼンテーション発表と論文作成を通して発信力の向上を図ります。

### 【大阪学院大学大学院経済学研究科との連携】

公共政策に関する特定テーマを設定し、当センター前所長の齋藤慎教授をはじめ、各種分野の専門家による連続講座を通じて現実問題を考察することにより実践能力の充実を目指します。

### 【大阪公立大学大学院都市経営研究科との連携】

希望する大テーマを1つ選択し、都市公共政策分野の第一人者をゲストスピーカーとしてお招きするワークショップ（3回程度）への参加を通して、公共政策が直面する課題解決のための研究を行います。

### 【和歌山大学大学院経済学研究科との連携】

公共政策に関する特定テーマについて研究・検討を行うことにより、実践能力の向上を図ります。

### ○ 研究紀要

市町村行政における喫緊課題を取り上げ、研究者による「政策提言論文集」として発行します。また、府内市町村職員から公募した論文の中から最優秀論文を掲載します。

### マッセOSAKA公募論文・エッセイ募集！

自治体や行政に関する内容であれば、福祉、教育、環境、行財政などテーマは自由です。ふるってご応募ください。

応募締切：令和4年9月22日（木）必着

## 令和4年度 新規の研修紹介

マッセOSAKAでは、これからの時代にふさわしい人材を育成することを目的とし、様々な研修を実施しています。研修はスキルアップだけが目的ではなく、他市町村の職員と共に学び、お互いの課題や情報を交換する場でもあります。皆さまの積極的なご参加をお待ちしています！

### 固定資産税課税事務研修（総則）

- 日 程 6月27日（月）
- 講 師 公益財団法人 東京税務協会  
専門講師 石塚 克義 氏

今まであった固定資産税（家屋・土地）の研修とあわせて、新たに固定資産税課税事務にかかる基礎として地方税法や固定資産税特有の制度などを学び、実務遂行能力の向上を目的とし、基礎的かつ必要な基本的知識の習得を行います。

（締切：5/30）

### 採用面接官養成研修（内部講師養成コース）

- 日 程 7月12日（火）～13日（水）
- 講 師 駒澤大学経済学部非常勤講師  
採用面接・育成アドバイザー 川村 稔 氏

優秀な人材を確保するためには採用面接が重要になります。採用面接・育成アドバイザーである講師より、採用面接を取り巻く現状や、人材像に合う受験者を選考する効果的な方法などについて講義をいただきます。また、2日目は履歴書や自己PRなどの分析を含めたケーススタディや演習を通し、より実践的に学びます。

（締切：6/14）

### 問題解決思考養成研修 ～3つの思考法を学び、実践する～

- 日 程 7月28日（木）～29日（金）
- 講 師 株式会社インソース  
講師 植田 啓 氏

自治体として効果的な運営や政策形成が求められる中、様々な問題を発見し、考え、解決に導く能力が必要となります。

本研修では、クリティカルシンキング・ラテラルシンキング・ロジカルシンキングの3つの思考法についての講義、それらを用いた演習を通し、問題解決に必要な能力の総合的な向上を図ります。

（締切：6/17）

### 広報担当実務研修 ～「伝える」から「伝わる」自治体広報の実現に向けて～

- 日 程 8月2日（火）～3日（水）
- 講 師 PRDESIGN JAPAN株式会社  
代表取締役 佐久間 智之 氏

広報誌やSNS、動画など自治体の情報を「伝える」方法は多様化していますが、果たして「伝わる」広報になっているでしょうか。広報のスペシャリストである講師から、広報の基礎的な話から具体的なテクニックまで多岐にわたる知識・技術を学び、「伝わる」広報の実現について考えてみませんか。

（締切：6/22）